

防災学習会

支え合いで備える、これからの防災
～ジェンダーの視点、多様な声を、地域の力に～

平成 16 年台風第 23 号の教訓を土台に、これからの水害にどう備えるかを、あらためて考えます。

気候変動により、雨の降り方は年々激しくなっています。いま大切なのは、一人ひとりの備えに加え、地域みんなで支え合う力。そして、その支え合いを確かなものにするのが、女性をはじめ多様な立場の人が担い手として関わることです。

今年は防災とジェンダー、それぞれの分野の専門家をお招きし、一人ひとりの「逃げる力」と、多様な立場から声を「届ける」ことの大切さを、当事者意識とジェンダーの視点から考えます。



参加無料 / 託児あり (要予約)

基調講演 01



逃げ遅れゼロへ
～気候変動時代に、地域で
命を守り合う力とは～

片田 敏孝 氏
東京大学大学院情報学環 特任教授

基調講演 02



防災・減災・復興に
なぜジェンダーの視点が
有効なのか

萩原 なつ子 氏
立教大学名誉教授、山梨県顧問、
公益財団法人ミダス財団シニアフェロー

パネルディスカッション

逃げる力、届ける声
～当事者意識とジェンダーの視点から
考える、これからの防災～

日時

2026 年 (令和 8 年) **11 月 7 日 土**
13:30 ～ 16:00 (開場 13:00)

会場

豊岡市民プラザ
(アイティ7階)

定員

200名

お申込み 締切：11月4日 (水)

- ・下記の二次元コードよりお申込みください。
- ・定員に達し次第、締め切ります。
- ・当日、会場の席に余裕がある場合は、お申込みされていない方もご参加可能です。



無料

託児をご希望の方は、
10月29日(木) 17時
までにお申込みください。
【対象年齢：未就学児】



登壇者



基調講演・パネリスト
片田 敏孝 KATADA Toshitaka

東京大学大学院情報学環
特任教授

専門は災害情報学・災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。



基調講演・パネリスト
萩原 なつ子 HAGIWARA Natsuko

立教大学名誉教授、山梨県顧問、公益財団法人ミダス財団シニアフェロー

専門は環境社会学、男女共同参画、非営利活動論。防災・減災・復興にジェンダーの視点を生かす意義を説く。「誰もが安心できる避難環境」の実現に向け、安全性・快適性の確保や住民の主体的な行動と意識変化の必要性を提言している。2018 年より豊岡市地域啓発アドバイザーを務める。



パネリスト
門間 雄司 KADOMA Takeshi

豊岡市長

2005 年から豊岡市議会議員を 3 期 12 年、2016 年から兵庫県議会議員を 3 期 10 年務め、地域の発展と県政の推進に尽力する。2025 年 5 月に豊岡市長に就任。「誇りと魅力が息づくとおか」の実現に向け、市民が誇れる魅力あふれる豊岡の未来に向け、舵取りを行っている。



司会・コーディネーター
佐伯 和亜 SAEKI Kazue

フリーアナウンサー

兵庫県豊岡市出身。2 児の母。豊岡市のコミュニティラジオ・FM ジャングルで、お昼の生情報番組「ジャングルランチ BOX」や、歌謡曲番組などを担当。令和 2 年以降、本学習会で司会を務める。

プログラム

13 : 30	開会挨拶	豊岡市長 豊岡河川国道事務所長	門間 雄司 氏 澤村 学 氏
13 : 40	基調講演 01	東京大学大学院情報学環 特任教授	片田 敏孝 氏
14 : 10	基調講演 02	立教大学名誉教授	萩原 なつ子 氏
14 : 40	休憩		
14 : 50	パネル ディスカッション	「逃げる力、届ける声 ～ 当事者意識とジェンダーの視点から考える、これからの防災～」	
15 : 55	閉会挨拶	但馬県民局長	上田 英則 氏

アーカイブ配信

後日、アーカイブ配信を行います。下記 URL または二次元コードよりアクセスしてください。

配信期間は、配信開始から約 1 か月間を予定しています。

<http://toyooka.bousaiseminar.jp>



平成 16 年台風第 23 号

平成 16 年（2004 年）10 月 20 日 13 時頃、大型の強い勢力で高知県に上陸した後、近畿、東海、関東地方と進み、全国に被害を及ぼし、死者・行方不明者が 100 人近くに達する甚大な被害となった。

豊岡市では、円山川と出石川が決壊し、浸水害が発生したほか、土砂災害も多数発生し、7 名の尊い命が失われた。